

再び悲劇を繰り返さないために、真実を知っておきたい…

東京電力福島第一原発事故から6年。
電力会社・国・大手広告会社が一体となって
「日本の原発は安全だ」という神話を信じ込ませてきた。宣伝広告による世論誘導は、どのように展開されてきたのか？ 私たちが二度とだまされないためにも、いま再び始まった原発広告の正体を、元広告マンが明らかにする。



◆本間龍さんプロフィール

著述家。1962年、英国生まれ。獨協大学法学部卒業。元博報堂社員。特に東電原発事故後、原発の安全神話をつくってきた広告を検証し、メディアと原発などをテーマにした講演や著述、テレビ出演など幅広く活動中。『電通と原発報道』『原発広告』『原発広告と地方紙』（以上壘紀書房）、『原発プロパガンダ』（岩波新書）など著書多数。

本間龍講演会

安全神話、世論操作、そして電通

と き 2017年3月18日（土）14時～16時
ところ 茨城県立県民文化センター分館・集会室8号
（水戸市千波町697／Tel029-241-1166）
参加費 1,000円（大学生以下500円）
主 催 本間龍・水戸講演会実行委員会 Tel029-303-1255